

平成 22 年 8 月 2 日
電 源 開 発 株 式 会 社

竹原火力発電所新 1 号機（設備更新）計画の 環境影響評価実施に向けた準備開始について

Jパワー（電源開発株式会社、社長：北村雅良）は、竹原火力発電所（広島県竹原市）1号機（出力 25 万 kW）および2号機（出力 35 万 kW）を新1号機（出力 60 万 kW）に設備更新することを計画し、環境影響評価（アセスメント）実施に向けた準備を開始いたします。

(1)竹原火力発電所の現況および計画の背景について

竹原火力発電所では現在、1号機・2号機・3号機の計 130 万 kW が運転中です。このうち1号機は 1967 年（昭和 42 年）7月の営業運転開始以来すでに 43 年以上、2号機も 1974 年（昭和 49 年）6月の営業運転開始以来 36 年以上が経過しており、高経年化への対応が必要となっております。加えて、地球温暖化問題へ積極的に対応を行っていく観点から、設備更新を計画するものです。

(2)竹原火力発電所新 1 号機（設備更新）計画について

本計画は、既設1・2号機の運転を継続しながら、2020 年（平成 32 年）を目途に、既設1・2号機合計と同じ出力規模となる 60 万 kW の石炭火力発電設備への設備更新を図るものです。最新設備の導入により、硫黄酸化物(SO_x)・窒素酸化物(NO_x)等の環境負荷を低減するとともに、エネルギー利用効率を向上し、低炭素化を図ります。

(3)今後の進め方について

今後は、本計画の環境への影響を評価するための調査・予測・評価方法を取りまとめた環境影響評価方法書の届出（年内予定）に向けて準備を進めてまいります。

<竹原火力発電所新1号機（設備更新）計画の概要>

所 在 地：広島県竹原市忠海長浜
出 力：60 万 kW
発 電 方 式：汽力
燃 料：石炭（海外炭）
着 工：2014 年（平成 26 年）予定
運 転 開 始：2020 年（平成 32 年）予定

以 上